ユーカリが丘

わがまち

vol.32
2006.9.16発行

編集・発行
わがまち編集委員会
〒285-0859
佐倉市南ユーカリが丘1番地1
TEL.043-487-8111(代)
FAX.043-487-8116
発行月／4・9・1月（担当／清水）

第2回防災シンポジウムinユーカリが丘の様子

自分たちのまちは自分たちで守ろう!!
第二回防災シンポジウムinユーカリが丘 盛大に開催される

去る七月八日（土）志津コミュニティセンターにて、『第二回防災シンポジウムinユーカリが丘』が、ユーカリが丘地区商店会連合会の主催により開催されました。シンポジウムの会場には、定員一杯の約四〇〇人の方が詰めかけ、関心の高さが伺えました。

このシンポジウムは昨年三月に第一回目を行い、「首都圏直下型地震とその被害について」というテーマで地震の第一人者である溝上恵先生に、また「家族の命は誰が守るか」というテーマで、地震防災に対する心構えを、岩瀧幸則先生にご講義いただきたくさんの方が詰めかけました。

その時の総括として、ユーカリが丘に自主防災組織をつくるべきとの提言があり、その必要性が認識されました。

それから約一年が経ち、わがまちにもようやく自主防災組織が立ち上がり、徐々に意識も向上してきました。

そして今回、地域防災や耐震工学・地震工学の専門家である、名古屋大学大学院工学博士で、全国をまたにかけて活躍されている、福和伸夫先生をお招きし、基調講演を行いました。

名古屋大学大学院
工学博士　福和伸夫先生

◆大地震に対する備えのレベルは?

会場に来られた皆さんに福和先生からの質問です。

①良い地盤に住んでいますか?
軟らかい地盤だと良く揺れる。

②耐震性のある建物に住んでいますか?
命は家に奪われる

③家具の転倒防止をしていますか?
家具が倒れて死傷する

④ホイッスルを持っていますか?
生き埋めになったときに助けを呼ぶ

⑤一七一の練習をしたことがありますか?
電話が輻輳（※）、公衆電話がどこにあるのか確認
※方々から集まり一箇所に込み合うこと

⑥水や食料の備蓄、非常持ち出し袋の準備は?
救援物資は直ぐには来ない

⑦会社に歩いて行けますか?
交通機関は止まる

特に①から③は命に関わること。②③について、よくお金がかかるからやらないという人がいるが、それはやらない理由をお金のせいにしているからで、これでは命は守れないとのこと。

④について、会場でホイッスルを持っていて吹けた人は一人。吹くまでに七秒かかりました。先生は同じことを名古屋でやったら、すぐに一割くらいの人がホイッスルを吹ける、それだけ地域によって意識の違いがあるそうです。

ホイッスルも肌身離さず、キーホルダーや携帯ストラップに付けておかなければ意味がないし、ICカード付でなければ怪我で病院に運ばれても血液型もわからず手当てできないとのこと。

⑤の「一七一」は、災害時の伝言ダイヤルで、地震が起きると一般電話や携帯電話はつながりにくいので、三〇秒以内の伝言を録音・再生し、家族等で確認しあうというもの。災害時はほとんど公衆電話でしかダイヤルできないので、大混雑が予想される。またこのダイヤル自体知らない人がまだ多い。

⑥の水や食料の備蓄をしているという人は多かったですが、それは生き残った場合のみ有効。生き残らなければ全く無意味です。まずは命を守ることが先決とのこと。

⑦はほとんどの人が歩いて行けない。会社に行けなければ収入も得られなくなります。

◆震度7の揺れとは

最近の地震で震度7を記録したのは、阪神淡路大震災（兵庫県南部地震）と中越地震だけだそうです。だから震度7などまず体験しないかというと、全くそうではないそうです。地面が震度6でも二階は震度7という場合もあります。揺れは高ければ高いほど大きくなります。超高層ビルでは七～八mの揺れになることもあります。備えがなければ家具はあっという間に倒れます。

また、倒れた家具で怪我をしても、助けはまず来ません。人口約一七万人の佐倉市では救急車が何台あるかというと六台です。（人口三万人に一台という基準がある）お医者さんが約二〇〇人と推定される。

「心をつなぐ明るいあいさつ」「安心・安全な街」ユーカリが丘に

消防署員は約一八〇人いるが、常時勤務している人は約六〇人とのこと。公的な力が大きく不足してしまうことが地震の怖いところなのです。

◆東京の過去を見る

東京の地名には、日比谷、渋谷、四谷、溜池、飯田橋、神田など水にまつわる地名が多く、外堀通りなど元々お堀だったところを埋め立てたところも多く、そういったところは特に揺れやすいとのこと。

震源地が小田原付近だった、関東大震災の時、震度7を記録したところは、この地域と符合するとのこと。

超高層ビルの揺れを体験したことがありますか。中越地震のときに六本木ヒルズのエレベーターが止まるということがありましたが、エレベーターの口

福和先生の基調講演

ープの周期と地震の周期があったため、大きな揺れとなり止まったと考えられているそうです。大きく揺れるのが超高層ビルの特徴なので、地震が来たら窓際によらず、建物の中心部で何かにしがみつくことが重要です。

◆耐震補強の重要性

耐震補強をしている家としていない家ではどれほど違うのかなどを、首相官邸などで行った具体的な映像で紹介され、耐震補強の重要性を説くとともに、耐震・制震・免震などの最新技術が紹介されました。

◆阪神淡路大震災で生き埋めの人はどう生き延びたか

阪神・淡路大震災時の地域防災の実際について、やはり映像などを駆使して紹介され、多くの方が地震発生から一五分以内になくなっている事。生き埋めになった人がどう生き延びたかというと、自力で(三四、九%)、家族に(三三、九%)、友人・隣人に(二八、一%)、通行人に(二、六%)、救助隊に(一、七%)、その他(〇、九%)となっており、いざと言うときには、身の周りの方が頼りということが良くわかりました。

この地震で亡くなられた方のほとんどが一五分以内で死に至っており、死因についても、圧死か窒息死(倒れた家の埃によるもの)がほとんどとのこと。このことから、建物の耐震化が命を救う唯一の手段であるということがわかりました。

また、火災についても、建物が壊れたり倒れなければ、火災は起きにくい。阪神淡路大震災で火災が多く発生した原因は家が倒れた事で出火・延焼したためです。自分の家が大丈夫でも、もらい火で焼けてしまってはどうしようもないし、もらい火の火事は火災保険では対応できないので地震保険に加入しておいた方が良いとのこと。関東大震災時に起こった「火災旋風」など、一度火事が発生すると瞬く間に火の竜巻のようになって延焼が広がりました。その他、「液状化現象(震動により比重が重い砂が沈み水が浮かび上がってくる現象)」や「側方流動(低地や堤防が壊れた水辺へ地盤が動く現象)」も発生しますが、建物が壊れなければ火事にはなりにくいものだそうです。

◆政府の対応

首都直下地震の切迫性については、今後三〇年でマグニチュード八の関東大震災クラスは、二〇〇〜三〇〇年毎なため、〇、八%と低いが、マグニチュード七クラスは七〇%の高い確率となっています。都心の帰宅困難者は、昼十二時に発生した場合、六五〇万人(最大で約七〇〇万人)と予測されています。

東海地震・東南海地震・南海地震の今後三〇年の地震発生率は五〇〜八七%で、政府の地震防災戦略では、一〇年で被害半減、耐震化率九〇%を達成するよう、徹底的な意識啓発を行うとのこと。

◆防災のPDCA

地震は、よく揺れるところと揺れないところがあるが、どちらにしても耐震をしておけば大丈夫。よく敵を知ることが大切とのこと。

重要なのは、どういったことが起こるか想像する事から、対策が始まる。

①気付き＝意識
何が起きるかを知る。
②学び＝知識
なぜ起こるかを知る
③対策・戦略＝認識
何をすれば良いかを知る
④実践
具体的対策へ

というように「防災のPDCA(plan do check action)」を行って下さいとのこと。

今回の講演で特に印象深かったのは、やはり福和先生の「人間は忘れやすい動物。ここではここでは防災は大切!と思っていても、会場を出ると忘れてしまう人がほとんど。少しでも多くの方に今日の事を覚えて実践していただける事を望みます。」という厳しいお言葉がありました。参加者には比較的年配の方が多く、もっと若い人に防災意識を持ってほしいとのこと。巨大地震に出会う確率は若い人ほど高くなるので、そういう意味でもっと興味を持ってほしいということでした。

パネルディスカッション
自主防災組織の活動について

パネルディスカッションの様子

パネルディスカッションでは、行政代表として、佐倉市長の渡貫博孝氏、佐倉市八街市酒々井町消防組合消防長の島村義明氏、住民代表として中志津自主防災組織の近友三郎氏・宮ノ台二丁目防災会代表の横井勇氏、専門家として福和伸夫先生とコーディネーターとして元千葉県都市部長の武間豊夫氏というメンバーで行われ、自主防災組織の取り組みについて、様々な議論や問題点の提起が行われ、聴衆を引き込み活発な討議がなされました。

まず、福和先生からは、自主防災組織も大事だが、基調講演のとおり、まず我が家をしっかりと耐震化してくださいとのこと。

そして、かたい自主防災組織ではなく、健康や福祉などにも展開できる、やわらかい自主防災組織をつくってほしいとのお話がありました。

渡貫市長からは、平成七年四月の市長就任以来、「災害に強い街づくり」を目指していろいろな施策を行ってきた。市内八〇箇所に「防災無線」の設置、市内の小中高校など三八箇所に防災倉庫の設置、市内五七団体となった自主防災組織の支援、三つの自治体でつくる組合消防の消防本部の新築などを行ってきたとのこと。

島村消防長からは、自主防災組織の現状について、千葉県の自主防災組織の組織率は六四、五%で全国平均を若干上回っているが、静岡県や愛知県ではほぼ一〇〇%、兵庫県でも九四%と比較するとまだまだで、佐倉市では約三五%(全世帯数に対する割合)と課題の残る数字であり、訓練メニューを変えるなどの対策を行っているとのこと。

中志津自治会の近さんからは、自治会での活動内容が報告され、防災まつりを実施して、三角巾を使った救急救護訓練、通報訓練、救命訓練、消火訓練、炊き出し訓練、煙体験などをスライドを使った画像で紹介された。

今年、自主防災組織を立ち上げられた、宮ノ台二丁目自主防災会代表の横井さんからは、神戸の大学時代の友人の体験談や東京に通勤していて勤務中に地震が発生したらどうしたらよいかなどの問題意識が、自主防災組織を立ち上げるきっか

けとなったというお話しや、発足に際しての苦労話、組織作り、啓蒙活動などについてお話いただいた。

続いてテーマごとにパネラーから回答をいただいた。

自主防災組織の役割については、島村消防長から、まずは平時の備えをお願いしたい。自主防災組織は数多く結成していただきたいが、問題点として、自分が自主防災組織に加入しているということを知らない人がいたりするので、活動内容の周知徹底を図ってほしいとの要望がありました。また、災害発生時の初期消火や救助活動も第二段階として対応してほしいとのこと。

実際の自主防災組織としての要望はという問いに対して、中志津自治会の近さんから、防災倉庫には、二五〇人分の食料（乾パンなど）があるが、災害時の必需品としては、水とトイレ。水はプールの水を浄水器で飲み水として使う。トイレは下水道のマンホールを使ったトイレとなるが、実際には不足すると思われ、もう少し何とかして欲しいという要望がありました。

自主防災組織立ち上げのネックは、ということに関しては、宮ノ台一丁目自主防災会の横井さんから、とにかくリーダーが強い意志を持ってやらないとだめ。まもなく現役世代が相当数リタイアされるはずなので、そういう方が中心になって欲しいと強調されました。

最後に、渡貫市長から、自主防災組織には約三五万円相当の資機材の貸与を市が行っているので、ぜひ自主防災組織をつくってほしい旨のお話があった。

福和先生から、締めの言葉として、もっと若い人の参加が望まれること。それには小学校などがいい場所で、先生方ももっと啓蒙してもらうことが意識向上の近道。また、企業の防災意識についても、気づいている企業は相当のことを行っている。地震でつぶれた会社も多いし、最近は学生の企業を見る目も、防災意識にどのような配慮がされているか厳しい目でみているとのこと。市長へのさらなる耐震診断への要望などを伝えてパネルディスカッションは終了しました。

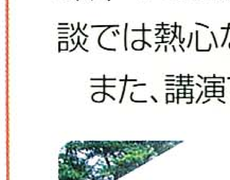
佐倉市の耐震に関する補助制度について

新聞によると、千葉県内では耐震に関する補助制度があるのは佐倉市をふくめて三市町村しかないとのこと。今後耐震に関する制度が義務付けられようとしているなかで、制度があるのは素晴らしいことと思います。

この『住まいの耐震補助事業』は戸建木造住宅を対象にした「木造建築物耐震診断補助制度」と「木造住宅補強改造工事補助事業」の二つです。

対象になる条件が昭和五六年五月三一日以前に建築されていて、以後増築していないなど、いくつかの条件を満たしていることが必要です。詳しくは佐倉市建築指導課のホームページをご覧ください。

◎お問合せ
☎ 四八四―一一一一
佐倉市ホームページアドレス
http://www.city.sakura.lg.jp



防災シンポジウムinユーカリが丘
午後の部『防災まつり』

午前の部の基調講演とパネルディスカッションに引き続き、「防災まつり」を開催しました。志津コミュニティセンター園庭では、炊き出しコーナーや防災体験コーナー、南公園入口では飲食・模擬店コーナーも設置。大勢の来場者で賑わいました。

会場入り口には巨大地震が起きないよう祈りを込めて「巨大ナマズ」が設置されました。

炊き出しコーナーでは、無料で豚汁の配給や実際に防災倉庫に保管してあるアルファ米の試食。また、商店会や地域のボランティアの方などによるアルファ米の炊き出し訓練を体験、来場者が試食し、思いのほかおいしく好評でした。

炊き出し訓練でアルファ米や豚汁を試食

防災体験コーナーでは無料の耐震相談コーナーや耐震リフォーム案内、マイコンメーターや警報器などの防災グッズ展示、免震効果を体験できる装置の設置、防災井戸パネルや防災住宅（サッカーボール住宅「バリア」）の展示などが行われ、皆さん興味津々でした。先生の講演の直後ということもあり、耐震相談・リフォーム相談では熱心な方でにぎわいました。

また、講演でも話題となったNTTの電話緊急「171」コールの説明が大好評。

救命講習会

佐倉市八街市酒々井町消防組合によるAED講習、救急救命講習、消火訓練、煙体験ハウス、警報器の説明などが行われ、多くの参加者が熱心に受講していました。特に住宅用火災警報器については、今年6月より、新築住宅に取り付けが義務付けられ、平成20年6月からは、既存住宅にも義務付けられます。

佐倉市交通防災課では、地震体験車を設置。実際の揺れを体験してもらいました。

実際の揺れを体験してもらった方々からは、改めてその揺れの激しさに驚いた様子でした。また、耐震器具を使った実験等も行い、転倒防止の大切さを改めて認識したとの声も多く聞かれました。

携帯電話回線による防災情報を電光掲示板に表示できる防災対応飲料自動販売機の展示なども行い、来場者の興味を引いていました。

昼過ぎの約2時間と短い時間でしたが、シンポジウム参加者や住民の方が数多く参加され、大変有意義なまつりとなりました。

防災まつりの様子

防災対応飲料自動販売機

アルファ米の炊き出し訓練

住宅用火災警報器の説明

自主防災組織について

佐倉市交通防災課の根本氏より自主防災についてお聞きしました。

Q①交通防災課が進めている自主防災組織とは、どんなことをするのですか？また、佐倉市に作られたのはいつ頃で、幾つぐらいあるのですか？

A 自主防災組織とは、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という理念のもと、市民一人ひとりが災害について認識を深め、自治会を中心として組織していただき、地域ぐるみの自主的な防災活動をしていただきます。阪神淡路大震災以降、全国で設立されるようになり、現在までに佐倉市では五七団体が設立、活動しています。ユーカリが丘地区では、今年はじめて「宮ノ台二丁目自主防災会」が設立されました。

Q②例えば独居老人の方で、自治会にも加入していない場合災害が起きた時に、どこがどのように対処するのかきちんと決まっているのでしょうか？

A 災害が起きた際は、高齢者、障害者、子供、外国人などは「災害弱者」となってしまい、近年全国的に対応策が課題となっています。佐倉市でも、今後、重要な課題として取り組まなければならないと考えております。災害発生後は、全ての市民が被災者となりえますので、市では全ての市民を対象とした防災対策に取り組んでいます。

また、プライバシー等の問題もあり、全ての独居老人の方を把握できていません。いざというときに、お互いに助け合うためにも、自治会や自主防災組織に加入していただき、また普段から隣近所のお付き合いをして、顔をあわせることが重要であると考えています。

Q③備蓄倉庫があると聞きましたが、付近の住人一人当り、何日分を想定した数量でしょうか？

A 市内の各学校に備蓄倉庫が設置されています。倉庫の中身については、一五〇人が避難してきた場合、三日間過ごせる分の備蓄をしております。この量については、阪神・淡路大震災の時の避難者数を参考にしていますが、不足するような事態が発生した場合は、千葉県、近隣市町村、または全国からの救援物資で対応する予定です。また、生協や商工会議所とも協定を結んでいます。市で大量の食料や水を用意するには賞味期限や予算の問題もあり、限界もございますので、食料やそれぞれ必要な物資については各自で揃えておいて頂きたいと呼びかけています。食料については、アレルギーを持つ人もいるので、最低一人一日分ぐらいの量の備蓄をお願いしたいと思います。水については学校のプールの水を浄化する浄水機が防災倉庫にあります。また、電気が止まっても浄水場には予備電源があり、水道の供給については比較的問題が少ないと思います。

上：防災倉庫／右：浄水器
（写真提供：佐倉市）

Q④避難勧告はどこから、どのような手段でくるのでしょうか？また、自分のいる場所が危険か否か、不安でいる場合どこに問い合わせをしたら良いのでしょうか？

A 避難勧告は佐倉市災害対策本部から発令いたします。防災無線、携帯電話のメール、ホームページ、ケーブルテレビのテロップ放送、各民間放送局（テレビ、ラジオ）、市広報車、消防団車両による巡回放送などで、皆様に避難するようお知らせいたします。また、様々な災害情報も同様の手段で随時お知らせしていきます。問い合わせにつきましては、佐倉市役所か避難所にいる市職員までお願いします。

Q⑤佐倉市の地盤は大丈夫なのでしょうか、またハザードマップはありますか？

A 佐倉市内は地形上がけが多く、県の危険指定地域だけでも五〇ヶ所以上あります。ただ個人所有の場合が多く、所有者に注意を促し、整備にはいたっていないケースが多いです。地震の防災地図があり、避難場所、避難所や防災関係施設が記載されています。がけ崩れ危険箇所や水害の起きやすい地域を記載したハザードマップは現在作成中で、完成次第皆様に配布いたします。

Q⑥防災組織に自治会員全員が協力するとは限りません。これは強制力のあることではないとしたら非協力的な人、または人たちにどういうふうに協力してもらうのか何か良い方法がありますか？

A 自主防災組織は地域で活動することに意義があります。中には非協力的な方もいるとは思いますが、全員が加入し、助け合うことが重要です。家が倒壊して下敷きになった人（阪神淡路大震災の場合亡くなられた方の九割）を、助けることができる時間は約十五分以内といわれています。すぐに自分や家族を助けてもらえる人は隣近所の方々なのです。このことをまず理解していただくしかありません。また、市で登録された自主防災組織には、三五万円相当の防災資機材が貸与されます。この資機材も自主防災組織に加入されますといざというときに活用することが出来ます。また、防災訓練等に年間二万円の助成金も交付しておりますので、この制度を利用していただくためにも全員が加入した自主防災組織を設立していただきたいと思います。

Q⑦老人ホームやグループホーム等の福祉施設に入居されている方々の避難の誘導や避難後のケアなどは、どのようになっているのですか？そこの施設だけが考える問題ではなく、市民全体で考えることだと思うのですが？（障害者施設や病院なども同様だと思いますが）

A 福祉施設の避難方法については、それぞれの施設にお願いしております。各施設は消防法の中で、避難方法や防災訓練の実施などが義務付けられています。施設が危険な場合には、一般の方と同様に避難所となる学校に避難していただきます。市内の学校は耐震調査を行っており、安全であることは確認されています。尚、耐震診断、改修工事の補助金を昭和五六年以前の木造建築物のみ行っています。心配な方は建築指導課に問い合せて下さい。

初めて聞くことが多く、とても良い勉強になりました。九月一日の防災の日には、訓練を兼ねて市の職員の方が歩いて市役所まで登庁することなども教えていただきました。災害を想定しながら、歩くことによって危険箇所を見極めるそうです。八月には一ヶ月間、市内の全ての学校（四〇箇所）に職員の方が出向き、防災訓練を行っていることも知りました。また、各種気象情報や不審者情報、行方不明者の捜索情報や光化学スモッグ注意報の情報などを携帯電話のメールで無料配信していることも知りました。

登録の仕方など詳しくは佐倉市のホームページをご覧下さい。いざという時の心構えや防災について市民として出来る役割などとても参考になりました。皆さんも是非、家族や友人と防災についての備えについてチェックしてみてはいかがですか？

（インタビュー　宮ノ台在住　編集委員　Tさん）

わがまちと消防団との関わり

ユーカリが丘と近隣地域の消防団との関わりはどうでしょうか。佐倉市消防団の志津地区を担当している、第二分団の豊田晃司分団長にお話をお伺いしました。

Q 消防団は主にどのような活動をしているのですか？

A 万一火事が発生すると常備消防（佐倉市八街市酒々井町消防組合）とともに出動し、消火活動や現場での交通整理など常備消防の後方支援を行い、鎮火後の現場整理・見回り等を行っています。また、台風等の風水害があったときなどにも出動します。

平常時には、ポンプ等の機械器具の点検や、火災予防の広報・警戒活動、救命講習の受講等を行っています。

Q 団員の構成は？

A 以前は、自営業や農家の方で構成されていましたが、現在はほとんどの団員が会社員です。

Q ボランティアでおこなわれているのでしょうか？

A 日頃はそれぞれの職業を持ちながら、いざ火災や水害などの災害が起きたときには、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神で消防防災活動に従事しています。

Q どういった方に消防団に参加してもらいたいですか？

A 近年、消防団員の高齢化が進んでいます。二〇～三〇代の元気な方、地域防災活動に興味がある方にぜひ参加をお願いします。

Q 今後の消防団はどのようになっていくのでしょうか？

A 大規模な災害が発生した場合、常備消防や消防団だけでの対応は不可能です。地域の自主防災組織との連携・協力が必要となってきます。日頃から地域の防災訓練の参加などにより、被災者や被災状況等の情報伝達や救護活動の連携ができればと思います。

◎お問合せ及び入団について
佐倉市交通防災課
☎四八四―六一三一

住民の力で災害に強い街 ユーカリが丘に

「わがまち・ユーカリが丘」では、ほとんどの地域で「地区計画」が制定済みです。この「地区計画」は住民の皆さんの合意によって佐倉市が条例化したものです。良好な住環境を保持するため、建物と境界線の距離を一定以上にして、隣棟間隔を空ける等により、火災の延焼を防いだり、柵のブロックの高さを低く制限し、生垣にしてブロックが倒れて避難を妨げないようにするなど、防災等に配慮したものとなっています。

またユーカリが丘内の道路は六メートル以上の幅員を確保しており、消防車等が通行しやすく、防火水槽や消火栓も多く整備され、特に各地域にあるマンションには防火水槽があるので、災害で断水しても利用することが可能です。だからといっていざという時の備えが万全とはいえません。今後消防署等と連携した、防災訓練などをより強化していくことが望まれます。

自分達の街は自分達で守るという発想が大切です。住民の皆さんがこの「地区計画」づくりで取り組まれたように、自主防災組織への取り組みも、住民ひとりひとりの参加意識によって必ず達成していきましょう。

わがまちの防災井戸

わがまちには、佐倉市が設置する防災井戸が井野中学校にありますが、それとは別に山万グループにより万一水道、電気が止まっても発電機で汲み上げる「防災井戸」が六ヶ所設置されています。

災害時に近隣農家の方から食料提供をいただけます

「わがまち・ユーカリが丘」の近隣には豊かな農業地域が隣接して広がっています。

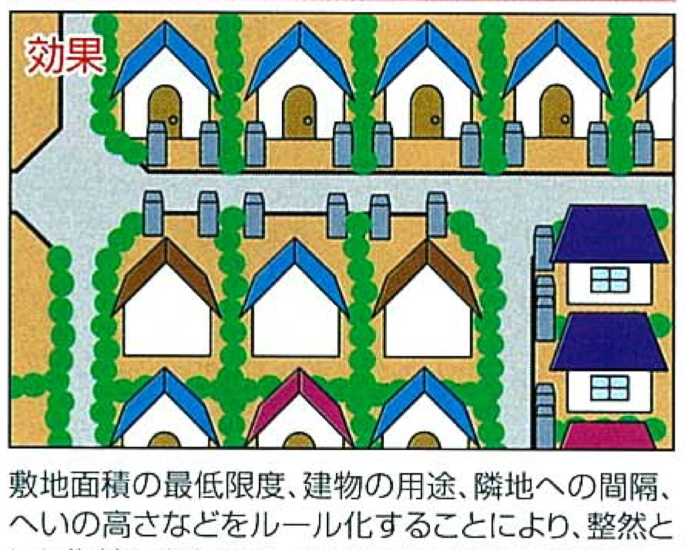
山万グループでは、万一災害が発生したときには、炊き出し用に一定量の食料を、近隣で営農されている方のご好意により提供していただくお約束をさせていただいております。お米や野菜など、季節や場所によって異なりますが、いろいろな食料を提供していただけるのも、ユーカリが丘ならではのこと。消防団とのかかわりも含めて新旧住民との「共助」関係が非常に大切になっています。

クラインガルテンにある防災井戸

揚水ポンプ

発電機

地区計画の効果



敷地面積の最低限度、建物の用途、隣地への間隔、へいの高さなどをルール化することにより、整然とした街並と災害に強い街にしていく事が出来ます。

ユーカリが丘 防災MAP

保存版

ご家族で緊急時の避難場所をご確認下さい

凡例

- 佐倉市避難場所
- 防災関係公共機関
- 消防署、出張所
- 学校及び公園
- 市浄水場
- 湖沼・河川
- 救急医療機関等
- 佐倉市消防団機械器具庫
- 防災行政無線子局
- 備蓄倉庫
- 防災井戸（山万他）
- 防災井戸（佐倉市）
- 一時避難場所
- AED（自動体外式除細動器）
- 病院等（歯科を除く）
- 避難場所のエリア分けの目安

第2分団13部
第2分団14部
旧志津小青菅分校
青菅大塚公園
青菅小学校
福祉の街
志津ユーカリ苑
ユーカリ優都苑
北門原公園
青菅クラインガルテン
さくら千手園
ケアガーデン
みんなの庭
小林循環器クリニック
南門原公園
前野公園
ユーカリが丘・
宮ノ台ハイツ
（防火水槽あり）
ユーカリが丘 防犯・防災
パトロールセンター宮ノ台詰所
クライネスサービス本部
木の宮学園
村上医院
アネシスユーカリが丘（防火水槽あり）
安藤建設
和洋女子大学
セミナーハウス
木の宮公園
井野中学校
中学校駅
上谷津公園
小竹クラインガルテン
ユーカリが丘北公園
北部調整池
女子大駅
小竹小学校
ヒルトップユーカリが丘（防火水槽あり）
第2分団15部
第2分団12部
子ノ神公園
千手院
ユーカリ五番町ハイツ（防火水槽あり）
南部調整池
井野クラインガルテン
井野の森
西ヶ作公園
井野西谷津公園
井野南作公園
井野駅
小竹原ヶ作公園
志津コミュニティ
センター
志津消防署
原ヶ作公園
井野外山東公園
ユーカリが丘南公園
ユーカリが丘交番
上座浄水場
グランフォートユーカリが丘
（防火水槽あり）
公園駅
工藤外科内科
井野小学校
アールビル
●天本クリニック（小児科・内科）
●ユーカリ眼科医院
萱橋公園
イーストタワー2F
集合クリニック
●高橋レディースクリニック
●いづみこどもクリニック
●今井整形外科
●常富内科クリニック
●野池皮フ科
●ゆり耳鼻咽喉科
第2分団11部
上座総合公園
地区センター駅
六所公園
志津小学校
上座新山公園
上座西谷津公園
かみにし内科医院
スターリア・ユーカリが丘
（防火水槽あり）
志津中学校
スカイプラザユーカリが丘（防火水槽あり）
元気壱番公園
壱番原駐車場
佐倉市役所ユーカリが丘出張所
スカイプラザステーションタワー
（防火水槽あり）
上座貝塚・一番原児童公園
トップヒルズクリニック（心療内科）
古屋小児科医院
ユーカリが丘駅
志津公民館
小林整形外科
京成電鉄
曙クリニック
プレシオ内
プレシオ・南ユーカリが丘（防火水槽あり）
遠間作公園
遠山児童公園
南が丘病院
ガーデンラベニュー・南ユーカリが丘
（防火水槽あり）
ユーカリ内科クリニック
佐倉西高等学校
第2分団16部
佐倉市役所
志津出張所
志津駅
志津児童センター
志津自然園
矢橋街区公園
東邦大学医療センター
佐倉病院
佐倉警察署志津交番
コラボハウス・南ユーカリが丘
（防火水槽あり）
中志津一号公園
上志津小学校
（防災井戸）
角栄ガス志津営業所
大境公園
西部保健福祉センター
志津消防署志津南出張所
第2分団18部
第2分団17部
国道296号線
至京成成田
ユーカリが丘 防犯・防災パトロールセンター
ライフサポートセンター
ユーカリが丘・インフォメーションセンター
順天堂大学WHOヘルスプロモーション・
リサーチ・センター
小 竹 川
手 繰 川
山万ユーカリが丘線
佐倉方面
N

第24回ユーカリまつり開催

今年も7月29·30日の土日2日間で「第24回ユーカリまつり」が開催され、例年にも増して多くの子ども達で賑わいました。

ユーカリまつり実行委員会の内野委員長のあいさつで幕を開けた29日は、まさに夏祭り日和といった晴天で、かなり蒸し暑く、飲み物も飛ぶように売れ、各自治会や商店会等の模擬店も絶好調。自治会主催の夏祭りらしく、運営も模擬店もすべて手作り。天候が一番の気がかりでしたが、関係者一同その盛況ぶりに満面の笑みとなりました。

30日は、前日深夜に激しい雨が降り、一転過ごし易い天候となって、踊りを踊る人にとっては絶好の陽気となりました。今年のユーカリまつりもたくさんの笑顔とともに、楽しい夏の想い出となったことでしょう。

まつりでは、佐倉勇翔太鼓の演奏やエクササイズ、盆踊り、各種模擬店などどこも大賑わい。上座熊野神社の神輿も参加し大いに盛り上がりました。例年通り「クライネスサービス」の方々に祭りの安全を守り続けていただきました。

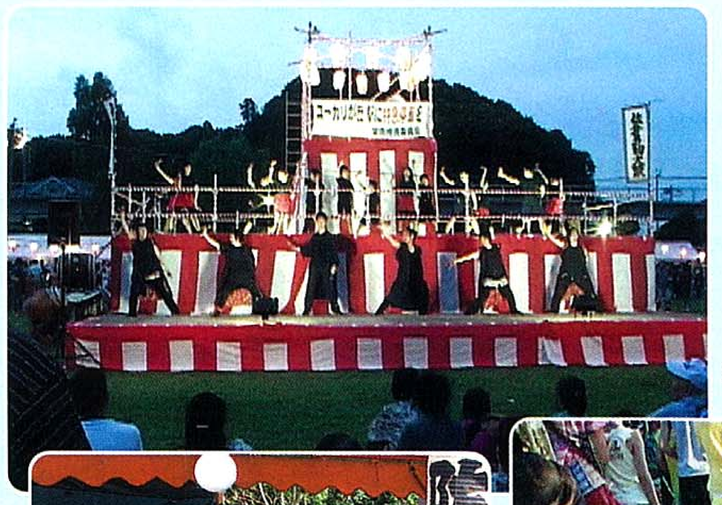
また当日は、テレビ局の取材もあり、まつりの様子が、都心の住宅団地と違って、子どもがたくさん参加していることが注目され、まさに「高齢化しない街」の典型として全国に放映されました。

今回で第24回を迎える「ユーカリまつり」ですが、最初は少人数から始まって、街の成長とともにだんだんと参加人数が増え、現在では2日間で3万人を超える来場者がある、わがまちの一大イベント·夏の風物詩として発展してきました。その影には、歴代の自治会の役員の方々をはじめとする、住民一人ひとりのご苦労とご協力がありました。

近年、家庭内のトラブルによる事件が多く発生していますが、「わがまち」をより安心·安全なまちにするためにも、この手作りと笑顔の「ユーカリまつり」がいつまでも続くことを願ってやみません。

ユーカリまつりに上座熊野神社の子供神輿も参加

佐倉勇翔太鼓と盆踊りを楽しむ



ロックソーラン踊り

クライネスサービスの皆さん

出店も大賑わい

マスコミで紹介されたユーカリが丘のビデオ&DVDを貸し出しします

2006年8月8日放送のテレビ東京系列「ワールドビジネスサテライト」でユーカリまつりの様子を含めて「わがまち·ユーカリが丘」が特集されました。見逃したのでビデオを見たいという問い合わせが多く寄せられていますので、ビデオ及びDVDをご用意致しました。無料で貸し出しますので、ご希望の方は山万㈱ユーカリが丘支店(☎487—8111)までお問合せください。

催し物カレンダー(秋～冬)

10月

②上座熊野神社祭礼
14日(土)·15日(日)

③小竹四社大神
15日直前日曜
(3年毎:次回は平成20年予定)

④ユーカリフェスタ
(国際シンポジウム)
28日(土)·29日(日)

熊野神社祭礼

11月

⑤先崎鷲神社
酉の日
(3年毎:次回は平成20年予定)

⑥ふれあい福祉まつり
23日(祝)

ふれあい福祉まつり

12月

⑦クリスマス感謝祭
11月下旬～
12月24日

◎クリスマス(表紙タイトル)イラスト
小田原 喜久子

1月

⑧小竹御岳神社
7日

⑨青菅どんどれえ
1月14日

⑩小竹の辻ぎり
20日、22日

⑪井野の辻ぎり
25日

青菅どんどれえ

井野の辻ぎり

【通年】　①下志津報恩寺(竹細工づくり)第1·3土曜日

ゆーかりさんぽ

●青菅小学校で能楽教室が開催

七月三日青菅小学校で能楽師九世橋岡久太郎師と大倉正之助師を招き能楽教室(能楽鑑賞会)が開かれました。これは「佐倉市地域まちづくり支援事業」のひとつとして同校PTA主催で行われ保護者の方々も多数出席されました。当日のプログラムは

一、謡い「高砂」　二、能の歴史
三、能面をつけてみよう
四、大鼓ってどんな楽器?
五、仕舞「土蜘蛛」

最初に謡い「高砂」を橋岡師が、最後に仕舞「土蜘蛛」を橋岡師と大倉師が演じられました。

両師とも能楽の歴史や特徴について、生徒たちに優しく話しかけるように語られたので、生徒たちもリラックスして聞き入っていました。橋岡師は「能は六五〇年以上も続いており、現存する舞台芸術では世界一古い。面を付けることにより、様々な人物を演じることが出来る」と校長先生と教頭先生に面を付けて楽しく分かりやすく説明されていました。

特に橋岡師は「面の中から見た世界を見てください」と三五〇年受け継がれている貴重な面を生徒ひとり一人に付けさせていました。面を付ける度に会場に歓声が上がっていました。

大倉師は能の伴奏に使われる鼓の説明をされました。生徒ひとり一人に舞台上で「イヨッー、ポーン」と声と音出しの体験もさせていました。中には良い音が出せていた生徒もいました。十人での合奏も体験させていましたが、初めてにしては見事な出来ばえに会場から拍手が湧きました。

最後の挨拶で、校長先生から生徒に「わが国には能と言う世界に誇れる素晴らしい伝統文化があることを忘れないように」と話されました。

両師の解説や体験が良かったのか、一時間半を超える能楽教室でしたが、生徒たちは全く退屈した様子はなく、充実したひとときでした。

能面をつけてみよう

●全国中学硬式野球大会及びジャイアンツカップで「佐倉リトルシニア」が全国制覇!!

今年八月に行われた、中学硬式野球の二つの全国大会で、「佐倉リトルシニア」が相次いで優勝を飾りました。

八月二六日には、ウィシュトンホテルユーカリで優勝祝賀パーティーが開催されました。

このチームは佐倉市を中心とした中学の生徒で構成されたもので、井野中や志津中の生徒も活躍し、優勝に貢献しました。

●北公園と南公園で太極拳

約二年前から北公園で朝早くから太極拳をやっている人たちがいるをご存知ですか。

NHK文化センターで太極拳を学ばれた人たちが、自主的に始められたのが最初で、口コミで人が集まり、今は四〇～五〇人の規模にまで発展したとのこと。北公園だけではなく南公園でも行っています。

特に会費などはなく、誰でも気軽に参加できるとの事。北公園では木曜朝の九時頃から十時半頃まで、南公園では月曜朝の八時半頃から十時頃まで作りのつもりでお気軽にご参加ください。

◎お問合せ
末光まで
☎四六二―五六六八

上:南公園にて
右:北公園にて

●子ども体験ボランティア

八月二七日、ユーカリが丘地区社会福祉協議会ボランティア事業部会主催「子ども体験ボランティア」が開催されました。この事業は、自分達が住んでいる街を大人と一緒にゴミ拾いをしながらコミュニケーションを図り、昨今急増している子どもを巻き込む事件、事故や子どもの非行を防止し、社会のルールを学ぶ機会にしようと今年で三回目となりました。

残暑の中、参加者はコミュニティーセンターから小竹小方面、ユーカリが丘駅方面、南公園内に分かれ、親子連れでゴミ拾いをした後、ゴミの分別について学習をし、実際に自分達で拾ってきたゴミを分別しました。「タバコの吸い殻が多かった」「花火のゴミが枯れ葉の上にたくさんあって危ないと思った」「私はポイ捨てをしません」など、参加した子ども達から感想が聞かれました。

ごみ分別の勉強会

当日は、クライネスサービスと山万グループの方々が、社協のメンバーと共に活動をし、小さなゴミを懸命に拾う子ども達と残り少ない夏休みの一日を過ごしました。

●小竹小学校 夏のお楽しみ会

小竹小では、夏休みに入った最初の日(七月二二日)に、子供達と子供たちと先生方、PTAの皆さんが参加した「お楽しみ会」を毎年実施しています。

水鉄砲を使った的あてなどを行っていますが、今年はあいにくの雨天で、体育館での輪投げや鬼ごっこなどをみんな一緒に楽しみました。

街の清掃活動を体験

輪投げも意外と難しい?!

●ギャラリー リーベがオープン!!

ユーカリが丘二丁目に今年三月オープンしたギャラリーリーベは同地在住の華道小原流教授、土屋登美枝先生がオーナーを務めるどなたでも利用可能な一軒家のギャラリーです。Liebeとはドイツ語で愛という意味。大勢の方々のふれあいの場、気軽に立ち寄れいろいろな年代の方とのコミュニケーションが楽しめ、趣味を表現し発表できる空間です。オープン以来、油絵、陶芸、パソコンで作る小物展など、数々の催しが行われています。この秋以降開催予定がされているのは次の通りです。

十月二六日(木)～二九日(日)
「染め遊び展」
櫻井直美／江川加代子他

十一月三日(金)～七日(火)
「着物のリフォーム展」
高崎明子他

十一月二四日(金)～二八日(火)
「油絵作品展」
仲　秀子

十二月一日(金)～五日(火)
「クリスマスを染で楽しむ展」
和田　博

○使用期間…一サイクルを金曜日から火曜日とします。連続しての使用は二サイクルまでとします。(短時間、一日使用など期間についてはご相談下さい。)
○使用料…三時間五〇〇円
一日、〇〇〇円
○開館時間…十時～十七時(時間外も相談に応じます)
○休館日…年末年始。その他当方が定めた日
◎お問合せ
ギャラリー リーベ
ユーカリが丘二―一―十六
☎&FAX 四六一―九〇〇四

室内の様子

●童心にかえって 草ぶえの丘で親睦会

アクション・クルー・ミヤノダイ(ACM宮ノ台の防犯パトロールグループ)のメンバー十六人が七月五日に草ぶえの丘でバーベキューを楽しまれました。

当日はあいにく小雨でしたが、「屋根付きの料理場、食卓が完備しているので助かった」、「木立の中で見る雨も風情がある」などの声がでたりして、雨も全く苦にしない様子でした。

燃料や料理器具など借りて、使い方など教えていただいていました。

参加者は全員が男性ですが、「オヤジの料理」で腕を磨いているIさん(ACMメンバー)の指示で、材料の買い出し、献立、料理がスムーズに進行していました。各自がテキパキとしていて、還暦を過ぎたシルバーエイジとは思えないバイタリティを感じました。料理が出来上がると皆さんの食欲にびっくり。お互いの歓談盛んなことにまたびっくり。

まるで子どもにでもタイムスリップしたよう。さらに驚いたことには、小雨などものともせず、園内を巡回するミニ汽車に喜々として乗り込んで奇声を発しておられました。ひよっとすると、ここ草ぶえの丘はシルバーエイジの方々が童心にかえれる「大人の夢の国」かも。孫と行けば孫世代に返れるかも?

帰り道に「また来よう」と声があがっていました。

■ファミリーバーベキュースペース
○料　金
一区画あたり　二千円
(入園料別)
○利用時間　午前十時～午後三時
○区　画　全十区画
一区画八名様まで(八名以上の場合はお問い合わせください。)
※鉄板、はめ込み型焼肉台貸出し有り(無料)。
※食材は持ち込みのみ

■秋まつり
○開催日
平成十八年十一月三・四・五日
○開催時間
午前九時～午後五時まで
(入園は午後四時まで)
※星の観察会(参加希望者のみ)については午後七時から開催
○開催内容　和太鼓の演奏・地元新鮮野菜の販売・イモ煮会・花苗の販売・アラレ販売・サツマイモ掘り・ファミリーバーベキュー(食材持ち込み)・陶芸教室・陶芸楽焼き教室・草笛教室・七宝教室他イベント多数開催
※催し物の中には天候により中止させていただくものもありますのでご了承下さい。
○入園料　大人四〇〇円
小人三〇〇円
幼児一五〇円
※秋まつり期間中のみ、中学生以下入園無料
◎お問合せ
佐倉草ぶえの丘
☎四八五―七八二一
URL　http://kusabue.shiteikanri-sakura.jp

ミニSLにも大はしゃぎ!

バーベキューで自慢の腕を披露?!

国際シンポジウム

～佐倉市ユーカリが丘の地から～ 生涯健康づくりの提言

開催日　2006年10月28日（土）・29日（日）
時　間　9:30～16:30（予定）
会　場　ウィシュトンホテル・ユーカリ

参加無料

28日

順天堂大学スポーツ健康科学部「第3回国際シンポジウム」
～21世紀の子どもの健康づくり　「学校・家庭・地域との連携」～
主催：　順天堂大学スポーツ健康科学部
共催：　順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター

○基調講演
「子どもの健康づくり～ヘルスプロモーションの視点から」
ドナルド・ナットビーム博士（シドニー大学副学長）
○シンポジウム
「たくましく生きぬくための健康づくり―心・身体・生活環境」

29日

「第2回ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくら」
生涯健康づくり～新しい健康と癒しのご提案～
主催共催：　佐倉市・順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター
○基調講演「健康な学校づくりの展開」
ドナルド・ナットビーム博士（シドニー大学副学長）
○ヘルスプロモーションとダイバージョナルセラピー
バネッサ・オガボーン理事長（オーストラリア・ダイバージョナルセラピー協会本部）
○シンポジウム　「健康づくりへのメッセージ」

開催趣旨

昨年開催致しました第一回ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくらに引続き、今年は、日本の急速な少子・高齢化の進展に照準をあて、「子どもの健康づくり」・「生涯健康づくり」を題材とし、子どものヘルスプロモーション研究で世界的に有名な「オーストラリア・シドニー大学副学長ドナルド・ナットビーム博士」をお招きして二日間にわたり基調講演を予定しております。初日は、ヘルスプロモーションの視点から子どもの健康づくりについて、2日目は幅広く一般市民にも関連した「健康と癒し」に焦点をあてた講演を予定しています。このシンポジウムを通じて、21世紀の健康づくりについて市民が考える手掛かりとして、素晴らしい成果へと発展することを期待しております。是非とも講演会にご参加ください。

◎お問合せ・講演会参加お申込先
順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター
ユーカリが丘支局　国際シンポジウム準備室
TEL.043－489－9091　FAX.043－489－9093
E-mail juwho-happyukari@catv296.ne.jp

ユーカリフェスタ2006

～親子で参加、サクラコレクション&ユーカリハロウィンパレード～

ユーカリフェスタはユーカリが丘地区商店会連合会（会長　三橋修）が主体となり、毎年開催しています。10月28日（土）は、ユーカリプラザ前のひまわり広場で、親子に大人気の「かぼちゃのちょうちんづくりコンテスト」と「ペットボトルキャンドル作り」を開催。コンテスト入賞者には、賞品も用意されています。昼間にみんなが作ったかぼちゃのちょうちんやペットボトルキャンドルに火を灯す点灯式では、幻想的な景色が広がり前夜祭の見所の一つとなっています。10月29日（日）は、サティ平面駐車場特設会場とひまわり広場の会場に分かれて、地域で活躍する和太鼓集団、ダンスチーム、音楽教室など多数参加。市民参加型の「サクラコレクション（ファッションショー）」では、市内で購入したものをコーディネートし、思い思いのファッションで登場。毎年会場を沸かせています。昨年に引き続き、和洋女子大学と佐倉東高校の生徒も出場します。また、「ユーカリハロウィンパレード」では、ハロウィンの仮装をした家族や企業グループなどが、地元佐倉市出身ヴォーカリストKAZCOが歌うオリジナルテーマソング「ユーカリハロウィン」とダンスにのせて、駅前からの中央通りをパレードします。

そして、ユーカリフェスタ中には2組のカップルが誕生します。28日（土）ユーカリが丘駅前の歓び広場における「キャンドルウェディング」と、29日（日）ひまわり広場における「フェスタウェディング」。毎年好評の人前挙式は、一般の方々に祝福されとても感動的で一見の価値ありです。（協力：ウィシュトンホテル・ユーカリ）

各会場では、商店会の模擬店が多数出店し、家族で参加してもカップルで参加しても1日中楽しめるイベントとなっています。

かぼちゃのちょうちんづくり

催し物もいっぱい

ハロウィンパレード

サクラコレクション

前夜祭　2006年10月28日（土）15時30分～20時（予定）
本　祭　10月29日（日）10時～16時30分（予定）
会　場　京成本線ユーカリが丘駅周辺
（ひまわり広場・サティ平面駐車場特設会場・中央通り 他）
内　容　サクラコレクション／ユーカリハロウィンパレード／
かぼちゃのちょうちん作りコンテスト／
ハッピー・ゴー・ラウンド／ハロウィンパフォーマンス／
フェスタウェディング 他
同時開催　防災フェアin SAKURA
第18回むし歯予防大会歯ッピーかみんぐフェア他

◎お問合せ
ユーカリフェスタ実行委員会
〒285-0858 佐倉市ユーカリが丘3－2－1サンサンビル105
ユーカリ商連事務局内
TEL.043－463－0784（月～金曜日）10:00～16:00
http://www.yukarigaoka.co.jp

新規店舗オープン情報

フィットネスクラブ カーブスがオープン!!

カーブスは全世界に二万店舗以上を展開する世界最大の女性専用フィットネスクラブです。女性専用クラブですので男性の目を気にする事なく気軽に運動ができます。カーブス最大の特徴は、たった三〇分間のサーキットトレーニングで「有酸素運動」「筋力運動」「柔軟運動」をバランスよく、しかも効率的に行うことができる点です。マシンも女性の身体に合わせて開発されたオリジナルの油圧式マシンで幅広い年代に対応しています。私達のクラブでは、「運動の必要性は感じるが家事や仕事で忙しい。」「運動は苦手。あまり好きじゃない…。」「何となく敷居が高い。」「もう年なので運動は…。」といった女性の方にこそ、ぜひカーブスを体験してほしいと考えています。女性の方はぜひ一度カーブスユーカリが丘へお気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同元気に明るく皆様をお迎え致します。

◎お問合せ
☎ 四六三―五五三三
南ユーカリが丘十一―二
SYビル二階
営業時間
平日　十時～十九時（十三時～十五時はクローズ）
土曜　十時～十三時
定休日　日曜祝日
http://www.curves.co.jp/

南ユーカリが丘のサイゼリヤ隣にオープンした、「カーブス　ユーカリが丘」

『そば処　蕎旬』

アクアユーカリの隣、サンサンビル一階にオープンした『そば処 蕎旬（きょうしゅん）』は、石臼挽粉を使用した本格そばと創作料理や地酒、焼酎が自慢のお店です。

また、アイドルタイムには、コーヒー、紅茶、甘味（あんみつ、ぜんざいetc）もございます。お子様連れには、ゆっくりお座敷などをご用意いたします。

これからは秋メニューとして、きのこなどを使った旬を先取りしたものをご用意しております。どうぞご賞味くださいますよう皆様のお越しをお待ち申し上げております。

◎お問合せ
☎ 四六〇―五三一〇
ユーカリが丘三―二―一
サンサンビル一〇四
営業時間
十一時～二三時
（ラストオーダー二二時半）
定休日　無休
http://www.kazokutei.co.jp

7種類のヘルシーきのこそば

そば処 蕎旬

お座敷もある店内

クライネスサービス会員募集

安心・安全な街づくりと新たな仲間づくりに参加しませんか

NPO法人クライネスサービスも活動七年目を迎え、会員も増強中。防犯パトロールだけでなく、花植えや清掃などの環境美化活動も楽しく行っています。

また、会員同士の親睦のため、懇親会やゴルフ、小旅行などを定期的に開催。無理せずできることを楽しみながら行っています。ご入会をお待ちしています。

なお、趣旨に賛同いただける賛助会員・特別会員も募集中です。

一般会員…入会金千円
年会費千円
賛助会員（個人）…一口千円
特別会員（団体）…一口五千円

◎お問合せ
クライネスサービス事務局
☎&FAX 四六三―一三三七

ユーカリ交番前の花植え

舟遊びで懇親会

お知らせ

今号の「ユーカリ知っ得情報局」と『「新しい健康づくり」による「ユーカリが丘の街づくり」（2）』は都合により休載となります。次号にご期待下さい。

◆わがまちの人口

住　所	世帯数（戸）（前回比）	人口（人）（前回比）
ユーカリが丘1丁目	721（+2）	1,996（−12）
ユーカリが丘2丁目	473（+3）	1,345（−9）
ユーカリが丘3丁目	146（0）	424（−6）
ユーカリが丘4丁目	881（+13）	2,269（+23）
ユーカリが丘5丁目	394（+6）	1,045（+7）
ユーカリが丘6丁目	192（0）	544（−6）
ユーカリが丘7丁目	347（+6）	1,076（+17）
宮ノ台1丁目	362（+7）	1,003（−1）
宮ノ台2丁目	423（+3）	1,202（−6）
宮ノ台3丁目	164（+2）	489（−5）
宮ノ台4丁目	315（+4）	945（−7）
宮ノ台5丁目	201（−2）	642（−1）
南ユーカリが丘	856（+42）	1,981（+123）
計	5,475（+87）	14,961（+117）

平成18年8月末現在・佐倉市役所調べ

京成ユーカリが丘駅に通常特急の停車を実現させましょう。